

ふるさとのお話

こ っ こ っ こ
な な な
と と と
こ こ こ
に に に



1、富士山のように
強く 正しく きまりを守り
平和で安全な社会をつくります

富士市戦争展を開催



△ 昨年の戦争展

昭和60年11月19日、富士市は核兵器
廃絶平和都市であることを宣言しまし
た。宣言に至るには、核兵器廃絶平和
富士市民の会の皆さんを中心に7万人
を超える署名が集められました。

昨年8月、核兵器廃絶平和富士市民
の会など14団体が実行委員会をつくり、
「平和のための富士市戦争展」が市役所
2階市民ホールで開かれました。これ
には、戦時中の教科書や配給切符、鉄カ
ブト、招集令状などが展示され、1,500
人を超える皆さんが見学をしました。
実行委員会の皆さんは、ことしも8月
10日～15日の間ユニ吉原店で戦争展
を計画しています。実行委員会では、
ただ今展示品を募集していますので、
戦争に関する物をお持ちの方は、御協
力ください。☎51-0123(内)2150



△現在の瘡守稲荷神社



天間北の 瘡守稲荷さん

かき もり い な り

天間北の富士宮市との境にある瘡守稲荷神
社は、皮膚病などに靈験あらたかといわれて
います。今回は、この神社のお話を、天間北
の白井政吉さん(八十二歳)を初めとする四
人の長老の皆さんに教えていただきました。

皮膚病を治す神様

天間北地区は今でこそ住宅地と
なっていますが、昔は戸数も少な
い寒村でした。

明治二十年ごろのことです。地
域の住民渡辺庄五郎さんという人
が、屋敷神として稲荷神社のほこ
らを建て、祭りしました。

そのころ天間に、できものでは
きる皮膚病がはりました。困り
はてたある人が渡辺さんの屋敷神
に祈ると、不思議なことにできも
のはみるみるすばみました。

地域の氏神に

それから、うわさを聞いた人々
が我も我もと押しかけ、稲荷神社
は皮膚病に靈験あらたかとして、
住民の信仰を集めました。

また、トラホームがはやったと
きにも御利益があつたことから、
明治二十六年ごろになつて地域の
氏神として永久に祭ることになり、
社殿を現在地に建て、瘡守稲荷神

社と改称しました。

鳥居が三十基

お祭りは毎年二月の初午に行わ
れ初めのころは草競馬や弓を引い
たり、露店や芝居小屋が出ました。
三十基ぐらいあつた鳥居の前には
「瘡守大明神」とかかれた旗が約
二百本並び、遠く由比・蒲原から
もお参りする人がありました。

続いていけるお祭り

現在は、鳥居一基に小さな社殿
があるだけで、昔の面影はありま
せん。お祭りは二月の初午近くの
日曜日に行われています。子供た
ちが「瘡守
大明神」と
かいた旗を
つくり、持
つていくと、
おこわをお
ひねりにし
てもらえま
す。



△右から白井政吉さん、原 隆
さん、白井和夫さん、望月実さん

地名の由来



よこ かり
横 割

横割村は元龜三年(一五七)七
月、伊藤八左衛門がこの付近の
地を武田信玄から領地として与
えられたところです。武田氏が
滅びた後、伊藤氏が帰農してこ
の地を開発したといえます。そ
れは古郡氏が加島新田を開発し
たときより九十年も前のことで
した。

横割という名称は、伊藤氏が
八幡宮の横から開発を始めたか
らだと伝えられています。

こちら編集室

皆さん、四月から朝夕の
広報無線放送の声が変わっ
ているのにお気づきですか。
これまでのTさんが異動
し、新たにNさんの声でお
送りしています。ところで、
Nさんの声どこかで聞いた
ことありませんか。あると
いう人は記憶のよい人。十
五年前ごろにもウグイス嬢
をしていました。でも、N
さんの年がばれたかな。